

Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン 改定内容一覧【2022年7月19日実行委員会】

改定点

第7波を受け検査体制を強化とともに、前回の改定に続き対策の強弱を示し、環境消毒や運営細則等の過度な制限について見直せる部分を改定した。

- 1 第7波を受けた検査体制の一部見直し
- 2 声出し応援席の運営
- 3 環境消毒の考え方の見直し
- 4 試合運営プロトコルの細則の見直し

赤字が改定点

特記のない場合、プロトコル7ではレベル1、レベル2双方を改定

1、第7波を受けた検査体制の一部見直し

No	現行版	7/19 改定	改定ポイント
1.	<p>30. 検査日</p> <p>(1) 試合当日スクリーニング検査の対象期間では「IV.試合当日スクリーニング検査」に基づき対象となる場合に検査を実施する（2022年6月時点では実施対象外）。</p>	<p>30. 検査日</p> <p>(1) 試合当日スクリーニング検査の対象期間では「IV.試合当日スクリーニング検査」に基づき対象となる場合に検査を実施する <u>(2022年7月15日に再導入を通知)</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 第7波に伴い、試合当日スクリーニング検査を限定再導入 ● 7月15日より施行 ● 終了日は未定（リーグ関係者の陽性者推移や市中感染状況等の数値をモニタリングの上で決定）
2.	<p>XI. Jリーグ定期検査 (2022年6月21日改定、2022年6月27日より適用)</p> <p>30. 検査日 (1) チーム始動時からシーズン終了まで</p>	<p>XI. Jリーグ定期検査 <u>(2022年7月19日 検査頻度の再改定)</u></p> <p>30. 検査日 (1) チーム始動時からシーズン終了まで</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 第7波に伴い、定期検査の回数を7月11日付で週1回から週2回へ変更した対応を反映

Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン 改定内容一覧【2022年7月19日実行委員会】

No	現行版	7/19 改定	改定ポイント
	<p>(2) 原則として毎週月～水曜日に 1 回検査を実施する各人は月～水曜日に検査をすれば、全員が同じ日に実施する必要はない</p> <p>(3) 試合当日スクリーニング検査の対象期間では「IV.試合当日スクリーニング検査」に基づき対象となる場合に検査を実施する（2022年6月時点では実施対象外）。</p> <p>(4) 審判員は、シーズン開幕前よりシーズン終了までの間、原則として毎週水～金曜日に 1 回検査を実施する</p> <p>(5) 陽性判定となった場合は、プロトコル 1「陽性判定への対応」に準じチームに対し自主的なスクリーニング検査を推奨する</p>	<p>(2) <u>検査回数は、週 2 回の場合は、原則として毎週月～水曜日と木曜日～日曜日に、週 1 回の場合は、原則として毎週月～水曜日に、それぞれ 1 回ずつ検査を実施する。各人はそれぞれの期間内に検査をすれば、全員が同じ日に実施する必要はない。</u></p> <p>(3) <u>検査回数は、別途 Jリーグの通知に従う。</u></p> <p>(4) 試合当日スクリーニング検査の対象期間では「IV.試合当日スクリーニング検査」に基づき対象となる場合に検査を実施する <u>(2022年7月15日に再導入を通知)</u>。</p> <p>(5) 審判員は、シーズン開幕前よりシーズン終了までの間、原則として毎週水～金曜日に 1 回検査を実施する</p> <p>(6) 陽性判定となった場合は、プロトコル 1「陽性判定への対応」に準じチームに対し自主的なスクリーニング検査を推奨する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 市中感染状況の急激な拡大に機動的に対応するため、前回の第6回実行委員会にて検査回数は別途リーグによる通達をもって適用とすることを決議（7/8にクラブ通知）

Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン 改定内容一覧【2022年7月19日実行委員会】

2、声出し応援席の運営

No	現行版	7/19 改定	改定ポイント
3.	プロトコル7 有観客での試合開催 XXVII. 制限の考え方 (新規)	プロトコル7 有観客での試合開催 XXVII. 制限の考え方 <u>140. 声出し応援席の設定</u> (1) <u>2022年8月14日をもって運営検証を終了する。8月15日以降、</u> <u>クラブは、主管試合において観戦席の一部もしくはすべてで声出し応援</u> <u>席を設けることができる。声出し応援席を設ける場合、別途定める「声</u> <u>出し応援ガイドライン」に準拠し実施すること。</u> (2) <u>実施の際には自治体の確認のもとJリーグが指定する方法にてリーグへ</u> <u>報告を行う。</u> (3) <u>Jリーグは、政府の基本的対処方針に基づき、声出し応援席の導入や</u> <u>実施方法に変更の必要がある場合、速やかにクラブへ背景事情とともに</u> <u>通達する。クラブはリーグの通達をもって声出し応援席ガイドラインの見</u> <u>直しがなされる可能性がある点を留意の上で導入を検討する。</u>	<ul style="list-style-type: none"> ● 声出し応援席の設定に関するガイドラインへの反映 ● 8月15日以降も、当面の間「声出し応援ガイドライン(STEP3)」の実施概要を適用 ● STEP3以降の細則はSTEP2の調査結果を受けて別途通知

3、環境消毒の考え方の見直し

No	現行版	7/19 改定	改定ポイント
4.	プロトコル4 サッカーのトレーニング XVII. トレーニング時の留意点 トレーニング全体を通じて注意すること (1) 人と人の接触を減らす ・ 同じ時刻に練習場に来る人数を減らす	プロトコル4 サッカーのトレーニング XVII. トレーニング時の留意点 トレーニング全体を通じて注意すること (1) 人と人の接触を減らす ・ 同じ時刻に練習場に来る人数を減らす	<ul style="list-style-type: none"> ● 医療機関等における環境消毒の考え方が見直されているに状況に鑑み改定 ● 接触感染リスクに対する過剰な対応は廃止

Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン 改定内容一覧【2022年7月19日実行委員会】

No	現行版	7/19 改定	改定ポイント
	<ul style="list-style-type: none"> 同時に同じ部屋にいる人数を減らす 選手とスタッフの動線を分ける <p>(2) 共通のモノを通じた接触を減らす、またはこまめに消毒する</p> <ul style="list-style-type: none"> 用具、ドアノブ、エレベーターのボタン <p>(3) 全員が感染防止マナーを守る</p> <ul style="list-style-type: none"> 身体的距離（できるだけ2m、最低1m） 咳工チケット（マスク着用を含む） 手洗い、手指消毒 不用意に自分の顔、とくに目・鼻・口などの粘膜、に触れない 頻繁な握手、ハイタッチ、抱擁、グラウンド上で唾や痰やうがいしたものを吐く行為も感染リスクにつながる 	<ul style="list-style-type: none"> 同時に同じ部屋にいる人数を減らす 選手とスタッフの動線を分ける <p>(2) <u>（削除）</u></p> <p>(3) 全員が感染防止マナーを守る</p> <ul style="list-style-type: none"> 身体的距離（できるだけ2m、最低1m） 咳工チケット（マスク着用を含む） 手洗い、手指消毒 不用意に自分の顔、とくに目・鼻・口などの粘膜、に触れない 頻繁な握手、ハイタッチ、抱擁、グラウンド上で唾や痰やうがいしたものを吐く行為も感染リスクにつながる 	<ul style="list-style-type: none"> 米CDC(疾病対策予防センター)のガイドラインを参考に専門家の助言を受けて決定 <p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> 手洗い手指消毒の励行 手指消毒液の設置（食事会場・マッサージルーム・ミーティングルーム・廊下・自室・スタジアムの来場ゲート） 食事の直前の手指消毒（手洗い） マッサージ、ジムの器具の消毒 更衣室の消毒 <p>継続事項の順守を前提に以下は廃止する</p> <p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> 試合開始前のボール、コーナーフラッグ、ゴールポストの消毒 ハーフタイムのボールの消毒 クラブハウス内のドアノブ・エレベーターのボタン消毒 食事会場での配膳台で改めての消毒 バス会社による都度の車内消毒 チームが使用する宿泊施設の宿泊施設による

Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン 改定内容一覧【2022年7月19日実行委員会】

No	現行版	7/19 改定	改定ポイント
			部屋の消毒・換気依頼 ・スタジアムにおけるチームが使用する「全ての」場所（更衣室は消毒を継続） ・記者用マイクの消毒（マスク着用が前提）
5.	74. ピッチ上の対人接触回避 (1) フェーズ3までは、身体接触のない、選手間の距離（できるだけ2m、最低1m）をとるトレーニング計画とする (2) ボール等、用具を介した感染可能性はゼロでない • 適宜の消毒が推奨される（ドイツ、イングランドで実施） • 不用意に自らの顔（とくに目・鼻・口といった粘膜部）に触れることを避ける	74. ピッチ上の対人接触回避 (1) フェーズ3までは、身体接触のない、選手間の距離（できるだけ2m、最低1m）をとるトレーニング計画とする (2) <u>（削除）</u> • 不用意に自らの顔（とくに目・鼻・口といった粘膜部）に触れることを避ける	● 食事会場に入る前に手指消毒もしくは手洗いを行うことで、配膳時に再度の消毒は不要とする
6.	76. 練習場での食事 (1) 食事を提供したい場合、選手の席は1.5～2mの距離をあけるかパーテーションを置き、黙食とする (2) 十分に広い部屋がない場合、グループ分けして食事時間をずらす (3) ビュッフェ形式の場合、配膳台で改めて消毒をし、大皿に唾液が飛ぶような会話などないよう留意する (4) 十分に健康管理しているスタッフが専任で食事を取り分ける方式も許容される (5) 料理に覆いがあるとなお望ましい (6) 食事の場所でも、実際に食事をとる以外は、マスクを着用する。たとえば入室し、食事を受け取り、着席するまでの間も、マスクを着用する	76. 練習場での食事 (1) 食事を提供したい場合、選手の席は1.5～2mの距離をあけるかパーテーションを置き、黙食とする (2) 十分に広い部屋がない場合、グループ分けして食事時間をずらす (3) ビュッフェ形式の場合、 <u>（削除）</u> 、大皿に唾液が飛ぶような会話などないよう留意する (4) 十分に健康管理しているスタッフが専任で食事を取り分ける方式も許容される (5) 料理に覆いがあるとなお望ましい (6) 食事の場所でも、実際に食事をとる以外は、マスクを着用する。たとえば入室し、食事を受け取り、着席するまでの間も、マスクを着用する	● 食事会場に入る前に手指消毒もしくは手洗いを行うことで、配膳時に再度の消毒は不要とする

Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン 改定内容一覧【2022年7月19日実行委員会】

No	現行版	7/19 改定	改定ポイント
7.	<p>プロトコル5 チームの移動、宿泊</p> <p>79. バスによる長距離移動</p> <p>(1) バス会社への事前の依頼事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前の車内消毒 運転手の体調管理。マスク、手指衛生 <p>(2) バス車内での身体的距離</p> <ul style="list-style-type: none"> 欧州ではバス内の人数を減らすため、複数台での移動を義務づけています（1台25人まで等）。とくにバス移動が長時間（2時間以上等）にわたる場合、ご検討ください 	<p>プロトコル5 チームの移動、宿泊</p> <p>79. バスによる長距離移動</p> <p>(1) バス会社への事前の依頼事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <u>(削除)</u> 運転手の体調管理。マスク、手指衛生 <p>(2) バス車内での身体的距離</p> <ul style="list-style-type: none"> 欧州ではバス内の人数を減らすため、複数台での移動を義務づけています（1台25人まで等）。とくにバス移動が長時間（2時間以上等）にわたる場合、ご検討ください 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者側が基本的な感染対策を行うことで充足
8.	<p>プロトコル7 有観客での開催</p> <p>XIX. チームの宿泊</p> <p>81. 宿泊施設の従業員や利用客との接触を減らすよう、工夫する</p> <p>(1) 施設単位またはフロア単位での貸し切りを検討する</p> <p>(2) チーム専用の入り口、動線、エレベーター等を設置できないか、検討する</p> <p>(3) 動線（共用の廊下やロビー等）、エレベーターについては、時間を指定することでの“専有化”も検討</p> <p>(4) 食事会場はチーム専用が望ましく、難しい場合も会場の一角を専用化するなど、常時2m以上離れる</p> <p>(5) チームが使用する部屋は事前に消毒、換気します（宿泊施設への依頼）</p> <p>(6) 連泊する場合の客室の清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> チームの不在時に清掃する。または、清掃しないことも選択肢となる 	<p>プロトコル7 有観客での開催</p> <p>XIX. チームの宿泊</p> <p>81. 宿泊施設の従業員や利用客との接触を減らすよう、工夫する</p> <p>(1) 施設単位またはフロア単位での貸し切りを検討する</p> <p>(2) チーム専用の入り口、動線、エレベーター等を設置できないか、検討する</p> <p>(3) 動線（共用の廊下やロビー等）、エレベーターについては、時間を指定することでの“専有化”も検討</p> <p>(4) 食事会場はチーム専用が望ましく、難しい場合も会場の一角を専用化するなど、常時2m以上離れる</p> <p>(5) <u>(削除)</u></p> <p>(6) 連泊する場合の客室の清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> チームの不在時に清掃する。または、清掃しないことも選択肢となる 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な手指消毒もしくは手洗いを行うことで充足

Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン 改定内容一覧【2022年7月19日実行委員会】

No	現行版	7/19 改定	改定ポイント
9.	<p>86. 食事</p> <p>(1) 食事を提供したい場合、選手の席は 1.5~2m の距離をあけるかパーテーションを置き、黙食とする</p> <p>(2) 十分に広い部屋がない場合、グループ分けして食事時間をずらす</p> <p>(3) ビュッフェ形式の場合、配膳台で改めて消毒をし、大皿に唾液が飛ぶような会話などないよう留意する</p> <p>(4) 十分に健康管理しているスタッフが専任で食事を取り分ける方式も許容される</p> <p>(5) 料理に覆いがあるとなお望ましい</p> <p>(6) 食事の場所でも、実際に食事をとるとき以外は、マスクを着用する。たとえば入室し、食事を受け取り、着席するまでの間も、マスクを着用する</p>	<p>86. 食事</p> <p>(1) 食事を提供したい場合、選手の席は 1.5~2m の距離をあけるかパーテーションを置き、黙食とする</p> <p>(2) 十分に広い部屋がない場合、グループ分けして食事時間をずらす</p> <p>(3) ビュッフェ形式の場合、(削除) 大皿に唾液が飛ぶような会話などないよう留意する</p> <p>(4) 十分に健康管理しているスタッフが専任で食事を取り分ける方式も許容される</p> <p>(5) 料理に覆いがあるとなお望ましい</p> <p>(6) 食事の場所でも、実際に食事をとるとき以外は、マスクを着用する。たとえば入室し、食事を受け取り、着席するまでの間も、マスクを着用する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 食事会場に入る前に手指消毒もしくは手洗いを行うことで、配膳時に再度の消毒は不要とする
10.	<p>XXX. 会場運営</p> <p>3. スタジアムの衛生管理</p> <p>(1) 使用するすべての部屋に消毒液を設置する</p> <p>(2) トイレには、手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する。また手洗い場には、石鹼（ポンプ型が望ましい）を用意する</p> <p>(3) チーム到着前に、チームが使用を予定する場所すべてを消毒する。更衣室は、試合の前半中にもう一度消毒するチーム到着より遡って 48 時間以内に施設利用がない場合は、消毒しなくてよい</p> <p>(4) ドアはできるだけ開けたままする。ドアノブに触れる頻度を下げるため</p>	<p>XXX. 会場運営</p> <p>3. スタジアムの衛生管理</p> <p>(1) 使用するすべての部屋に消毒液を設置する</p> <p>(2) トイレには、手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する。また手洗い場には、石鹼（ポンプ型が望ましい）を用意する</p> <p>(3) 更衣室は、チーム到着前と試合の前半中に消毒する • ただし、チーム到着より遡って 48 時間以内に施設利用がない場合は、消毒しなくてよい</p> <p>(4) 屋内諸室は定期的な換気を行う。機械換気による常時換気又は窓開け換気が望ましい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 更衣室は限られた空間で大人数が一度に使用し、かつ試合の直前、直後はマスクを外して利用されることがあるため、消毒措置を継続する。 ● 令和4年7月15日付の政府事務連絡に基づき、屋内諸室に関する換気のガイドラインを反映

Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン 改定内容一覧【2022年7月19日実行委員会】

No	現行版	7/19 改定	改定ポイント
		<p><u>(参考) 基本的対処方針に基づくイベントの開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等について (2022年7月15日付政府事務連絡抜粋)</u></p> <p><u>https://corona.go.jp/package/assets/pdf/jimurenraku_seigen_20220715.pdf</u></p> <p><u>イベント開催等における必要な感染防止策</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <u>必要な換気量 (一人当たり換気量 30m³/時を目安) を確保するため、二酸化炭素濃度を概ね 1,000ppm 以下を目安とする。二酸化炭素濃度測定器の活用が効果的である</u> <u>機械換気が設置されていない場合の窓開け換気は、2 方向の窓開けが望ましい</u> <u>機械換気、窓開け換気ともに相対湿度の目安は 40-70%</u> 	
11.	<p>XXXIII. チーム、審判員、及び競技</p> <p>6. 競技用具、備品の消毒</p> <p>(1) 試合開始前にボール、コーナーフラッグ、ゴールポストを消毒する</p> <p>(2) ボールは、ハーフタイムにも消毒する</p>	<p>XXXIII. チーム、審判員、及び競技</p> <p>6. 競技用具、備品の消毒</p> <p><u>(削除)</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 主管クラブ任意とする

Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン 改定内容一覧【2022年7月19日実行委員会】

No	現行版	7/19 改定	改定ポイント
12.	<p>XXXI. メディア及び中継制作・伝送</p> <p>6. 試合終了後の対応について</p> <p>(1) 監督記者会見は原則対面で実施する。選手の取材について、ミックスゾーンの設置は、下記の条件が満たせない場合は、クラブの判断のもと会見形式で実施も可とする。</p> <p>(2) 主管クラブは下記の条件を満たす取材環境を整備する</p> <p>① 会見は換気のよい場所で実施し、会場内での食事は禁ずる</p> <p>② ミックスゾーンは混雑する動線を避け、屋外もしくは換気のよい場所で実施する</p> <p>③ 聞き手・話し手とも原則全員マスクを着用する</p> <p>④ 話し手と聞き手の距離を少なくとも 1m、できる限り 2m 空ける</p> <p>⑤ ただし聞き手との距離が 1m 以上あり、かつ短時間（目安 10 分以内）で実施する場合に限り、話し手は発話時マスクを外すことができる</p> <p>⑥ マイクを設置する場合は消毒する。</p> <p>⑦ マイクを回す場合は他の者が使用する際に持ち手を消毒するとなおよい</p>	<p>XXXI. メディア及び中継制作・伝送</p> <p>6. 試合終了後の対応について</p> <p>(1) 監督記者会見は原則対面で実施する。選手の取材について、ミックスゾーンの設置は、下記の条件が満たせない場合は、クラブの判断のもと会見形式で実施も可とする。</p> <p>(2) 主管クラブは下記の条件を満たす取材環境を整備する</p> <p>① 会見は換気のよい場所で実施し、会場内での食事は禁ずる</p> <p>② ミックスゾーンは混雑する動線を避け、屋外もしくは換気のよい場所で実施する</p> <p>③ 聴き手・話し手とも原則全員マスクを着用する</p> <p>④ 話し手と聞き手の距離を少なくとも 1m、できる限り 2m 空ける</p> <p>⑤ ただし聞き手との距離が 1m 以上あり、かつ短時間（目安 10 分以内）で実施する場合に限り、話し手は発話時マスクを外すことができる</p> <p>⑥ <u>(削除)</u></p> <p>⑦ <u>(削除)</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ガイドラインに定める会見室の出入口での消毒液の設置ならびに入室前後の手指衛生対策（手洗いや消毒）により、マイク自体の消毒は不要とする

Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン 改定内容一覧【2022年7月19日実行委員会】

4、試合運営プロトコルの細則の見直し

No	現行版	7/19 改定	改定ポイント
13.	<p>XXXIII. チーム、審判員、及び競技</p> <p>7. ボールパーソン、担架要員</p> <p>(1) ボールパーソン、担架要員の人数をできるだけ少なくする</p> <p>(2) 試合実施要項の【試合球】の定めに関わらず、上記の目的のために8個以上のボールを使用することは許容される</p>	<p>XXXIII. チーム、審判員、及び競技</p> <p>7. ボールパーソン、担架要員</p> <p>(1) <u>(削除)</u></p> <p>(2) 試合実施要項の【試合球】の定めに関わらず、<u>2022シーズンにおいては8個以上のボールを使用することは許容される</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ボールパーソンの基本的な感染対策を前提に人数制限は廃止 ● ただしボールの個数の定めはシーズン終了後に見直す
14.	<p>7. 大型映像装置、場内放送の運用</p> <p>(1) 操作室に三つの密が生じないよう、最少人数での運用を工夫する</p> <ul style="list-style-type: none"> 操作室では必ずマスクを着用する <p>(2) Jリーグの試合実施要項【スタジアムにおける告知等】に定める事項は通常通り実施する</p> <p>(3) ホームクラブ独自の告知事項等は、普段の試合と変わらず、容認される</p>	<p>7. 大型映像装置、場内放送の運用</p> <p>(1) <u>操作室は定期的に換気され、使用者はマスクを着用する。</u></p> <p>(2) Jリーグの試合実施要項【スタジアムにおける告知等】に定める事項は通常通り実施する</p> <p>(3) ホームクラブ独自の告知事項等は、普段の試合と変わらず、容認される</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本的な感染対策を前提に人数上限は廃止
15.	<p>12. 選手及び審判団のピッチ入場～キックオフ</p> <p>(1) 両チーム選手及び審判団は整列の上、一緒に入場する</p> <p>(2) 入場前は身体的距離（できるだけ2m、最低1m）を保つよう十分配慮する</p> <p>(3) フェアプレー旗、クラブ旗、エスコートキッズ、選手や審判員の表彰、来賓などによるキックオフセレモニー等を実施する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 入場動線を選手と別にするなど密を避ける工夫をすること 陰性確認した者が望ましい（72時間以内のPCR検査か当日の抗原定性検査を自安に主管クラブが決定） 	<p>12. 選手及び審判団のピッチ入場～キックオフ</p> <p>(1) 両チーム選手及び審判団は整列の上、一緒に入場する</p> <p>(2) ピッチ上で握手セレモニーは行わない</p> <p>(3) <u>試合前にセレモニーを実施する場合</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <u>密を避ける工夫をすること（例：入口が狭い場合は入場動線を選手と別にするなど）</u> <u>マスク着用、もしくはピッチ上で選手と身体的距離（2m）を取ること。声を出す場合はマスク着用が望ましい。</u> <u>演出上マスクを外す場合は、2m未満の近い距離で行う、もしくは2m以上離れていても大声を出す際には、陰性確認することが望ましい。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 試合前のセレモニーの細則の見直し

Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン 改定内容一覧【2022年7月19日実行委員会】

No	現行版	7/19 改定	改定ポイント
	<ul style="list-style-type: none"> 陰性確認ができない場合はピッチ上で選手と身体的距離（最低1m）を取ること 手をつなぐ場合は前後で手指消毒をする <p>(4) ピッチ上で演出の都合でセレモニーの出演者がマスクを外す場合は陰性確認ができることが望ましい</p> <p>(5) ピッチ上で握手セレモニーは行わない</p> <p>(6) チームの集合写真撮影は認められる。但し、掛け声は禁止とする。</p> <p>13. ピッチ周辺でのクラブパートナー/スポンサーの露出</p> <p>(1) 広告看板、バナー等は、通常の試合と同様に掲出される</p> <p>(2) 演出時に身体的距離（できるだけ2m、最低1m）を保つ</p>	<p><u>ましい（検査方法は72時間以内のPCR検査か当日の抗原定性検査を日安に主管クラブが決定）。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <u>手をつなぐ演出を行う場合、セレモニー前後に手を洗うもしくは消毒することが望ましい</u> <u>チームの集合写真撮影は認められる。但し、掛け声は禁止とする。</u> <p>(4) 試合終了時のセレモニー</p> <ul style="list-style-type: none"> 両チームおよび審判団はピッチ中央に集まり通常どおり挨拶ができる。ただし、握手やハイタッチの代わりとしてグータッチが望ましい。 チームとして集まってファン・サポーターに挨拶する等を行う場合、観客からの身体的距離（できるだけ2m、最低1m）を確保すること。 <p>13. ピッチ周辺でのクラブパートナー/スポンサーの露出</p> <p>(1) 広告看板、バナー等は、通常の試合と同様に掲出される</p> <p>(2) <u>ピッチ上でイベントを実施する場合、前条12-(3)に準ずる</u></p>	
16.	<p>XXX. 会場運営</p> <p>(4) ゲートスタッフは、券面チェックのみ実施し、お客様にもぎってもらう（QRチケットでの入場を実施するクラブは、ワンタッチパスの端末で認証）</p>	<p>XXX. 会場運営</p> <p>(4) ゲートスタッフは、<u>定期的な手指衛生（消毒もしくは手洗い）を行いチケットもぎりの対応を行う。</u>（QRチケットでの入場を実施するクラブは、ワンタッチパスの端末で認証）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 実態に即して見直し
17.	<p>プロトコル6 無観客での開催、プロトコル7 有観客での開催ともに改定</p> <p>9. 競技規則、試合実施要項等の適用</p> <p>(1) 交代選手数を5人まで認めるFIFAの特別ルールを適用する</p> <p>(2) 飲水タイムに関する通知は2022年1月31日付で実施</p>	<p>プロトコル6 無観客での開催、プロトコル7 有観客での開催ともに改定</p> <p>9. 競技規則、試合実施要項等の適用</p> <p>(1) 交代選手数を5人まで認める<u>FIFAのルールを</u>適用する</p> <p>(2) 飲水タイムに関する通知は2022年1月31日付で実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交代人数5名まで 7/30 競技規則改定に伴い特別ルールから定常ルールへ変更